

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年11月20日 (2008.11.20)

【公表番号】特表2003-515838(P2003-515838A)
 【公表日】平成15年5月7日 (2003.5.7)
 【出願番号】特願2001-541923(P2001-541923)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/12 K

B 4 1 J 29/38 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年9月24日 (2008.9.24)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも部分的に印刷データに基づいてドキュメントを印刷するためのプリンタと、プリントジョブを受信及び／又は生成し、かつ前記プリントジョブに対応する印刷データをプリンタに送信するためのサーバとを有した印刷システムであって、前記システムは、サーバがプリンタに印刷データを送信しプリンタがドキュメントを印刷する第 1 動作モードと、プリンタがドキュメントを印刷せず前記サーバが印刷されていない未決のプリントジョブに関するデータを記憶する第 2 動作モードとを有し、モードが第 2 動作モードから第 1 動作モードに変換されるときには、サーバは未決のプリントジョブの電子的形態の一覧を検索又は生成し、前記電子的形態の一覧に対応する印刷済み一覧をプリンタに印刷させる印刷システム。

【請求項 2】 a) 印刷、又は

b) 前記電子的形態の一覧からの削除

のために、前記印刷済み一覧上のあらゆるプリントジョブを選択することをユーザに可能にさせる選択手段をさらに有した請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】 前記印刷済み一覧上で印刷されるべく選択されたプリントジョブが印刷され、前記印刷済み一覧上で削除されるべく選択されたプリントジョブが前記電子的形態の一覧から削除される請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】 前記印刷済み一覧上で印刷されるべく選択されたプリントジョブは印刷された後に前記電子的形態の一覧から削除される請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】 前記電子的形態の一覧における各入力、それぞれの入力が予め削除されず、かつ選択された期間の終わりに前記電子的形態の一覧中のあらゆる入力が削除されない場合には、第 2 動作モードから第 1 動作モードへの変換後、選択された期間だけ保持される請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】 第 2 動作モードではサーバがプリントジョブに関するデータを記憶し、第 2 動作モードから第 1 動作モードへ変換すると直ちに、サーバが前記電子的形態の一覧を生成し、前記電子的形態の一覧に対応するプリントジョブをプリンタへ転送する請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】 第 2 動作モードではサーバがプリンタに印刷データを送信し、プリンタが前記印刷データを受信して記憶し、第 2 動作モードから第 1 動作モードに変換すると

直ちに、プリンタは前記電子的形態の一覧及び前記印刷済み一覧を生成する請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】 第 1 動作モード 及び第 2 動作モード の間、あるいはその逆にシステムの動作モードを変更すべくさらにユーザ・インターフェースを有する請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 9】 前記選択手段はプリンタ上のユーザ・インターフェースを有する請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 10】 前記印刷済み一覧は各入力の印刷選択及び削除選択を示す符号化データと共に印刷され、前記選択手段は前記符号化データを感知すべくセンサを有した請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 11】 プリントジョブを受信し及び / 又は生成するための、及び、1 台以上のプリンタへ前記プリントジョブに対応する印刷データを送信するためのサーバであって、同サーバは各プリンタについて第 1 及び第 2 動作モード を有し、第 1 動作モード ではサーバは印刷のためにプリンタに印刷データを送信し、第 2 動作モード ではサーバはプリントジョブを受信、及び / 又は生成する一方で、それぞれのプリンタに印刷データを送信せず、印刷されていない全ての未決のプリントジョブに関するデータをサーバが記憶し、モードが第 2 動作モード から第 1 動作モード に変換されるときには、サーバは電子的形態の一覧を検索、又は生成し、前記電子的形態の一覧に対応する印刷済み一覧をそれぞれのプリンタに印刷させるサーバ。

【請求項 12】 印刷又は削除のために前記印刷済み一覧上のプリントジョブの選択を受信するための選択手段をさらに有し、印刷済み一覧上で印刷されるべく選択されたプリントジョブはプリンタで印刷されるべく前記プリンタに送信され、前記印刷済み一覧から削除されるべく選択されたプリントジョブは前記電子的形態の一覧から削除される請求項 11 に記載のサーバ。

【請求項 13】 前記印刷済み一覧上で印刷されるべく選択されたプリントジョブは印刷後に前記電子的形態の一覧から削除される請求項 12 に記載のサーバ。

【請求項 14】 前記電子的形態の一覧における各入力は、それぞれの入力が予め削除されず、かつ選択された期間の終わりに前記電子的形態の一覧中のあらゆる入力が削除されない限り、第 2 動作モード から第 1 動作モード へ変換した後選択された期間だけ保持される、請求項 11 に記載のサーバ。

【請求項 15】 第 2 動作モード ではサーバはプリントジョブに関するデータを記憶し、第 2 動作モード から第 1 動作モード へ変換すると直ちにサーバは前記電子的形態の一覧を生成し、前記電子的形態の一覧に対応するプリントジョブをそれぞれのプリンタへ転送する請求項 11 に記載のサーバ。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0012】

(発明の開示)

本発明は 1 つの広範な態様において、少なくとも部分的に印刷データに基づいてドキュメントを印刷するためのプリンタと、プリントジョブを受信及び / 又は生成し、かつ前記プリントジョブに対応するプリンタに印刷データを送信するためのサーバとを有した印刷システムであって、前記システムは、サーバがプリンタに印刷データを送信し、プリンタがドキュメントを印刷する第 1 動作モード と、プリンタがドキュメントを印刷せず、印刷されていない未決のプリントジョブに関するデータを前記システムが記憶する第 2 動作モード とを有し、モードが第 2 モードから第 1 モードに変換されるときには、システムは未決のプリントジョブの電子的形態の一覧を検索、又は生成し、前記電子的形態の一覧に対応する印刷済み一覧をプリンタに印刷させる印刷システムを提供する。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 3】

システムは好適には、ユーザが各ドキュメントを削除し或いは印刷することを可能にさせる選択機構を有する。好適な形態においてプリンタはネットページ・プリンタであり、一覧の各ページはネットページ・ペンを使用して紙と直接的相互作用を可能にすべくタグと共に印刷される。紙は、予めタグを備えて印刷されてもよく、或いは、プリンタがドキュメント一覧情報を備えたタグを印刷してもよい。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 4】

ネットページ・タグが印刷済み一覧上に設けられる場合、ユーザは、ページ上の適切な領域の選択によって各ドキュメントの印刷、あるいは削除を選択すべく、ネットページ・ペンや同様のセンサを使用し得る。一覧は「全てプリント」及び「全て削除」のオプションを各ページ、或いは、一覧の第 1 ページ又は最終ページのみに有していてもよい。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 6】

各ドキュメントが印刷された後、好適には電子的形態の一覧から削除される。

ユーザがドキュメントを削除も、印刷もしない場合には、それは電子的形態の一覧に残る。システムは、一週間など所定の期間後に電子的形態の一覧を削除してもよい。この期間はシステム管理者によって、あるいはユーザによって設定されてもよく、或いは、両方が期間をセットすることが可能である。ユーザは、管理者設定期間より短い期間を設定する。管理者設定期間は、ユーザのグループ、或いは階層について全体的に、及び / 又は個人ベースで設定され得る。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 7】

好適な形態においてドキュメントの一覧は、プリンタが特定の「休暇」モードであった場合のみに印刷される。システムは、プリンタがオフラインであるか或いは一定の期間を超えてオフであった場合に、一覧を印刷するように設定され得る。システムは、所定の時間を経過していないドキュメントを自動的に印刷してもよく、或いは印刷されていない全てのドキュメントについて一覧を印刷してもよい。これはユーザによって各プリンタについて設定されてもよく、或いはシステム管理者が、複数の階層のユーザ又はプリンタについて、及び / 又は個々の単位で設定してもよい。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

本発明は、ユーザが印刷された出版物にではなく電子出版物を予約する電子購読サービスなど印刷不要の購読サービスに対しても用途を有する。従って、本発明は最も広範な態様において、ドキュメントを受信し及び／又は生成するための、及び、ユーザへ前記ドキュメントを送信するためのサーバを有したドキュメント配送システムであって、前記システムは、サーバがユーザにドキュメントを送信する第1動作モードと、サーバがユーザにドキュメントを送信せず、システムがユーザに送信されていないあらゆる未決のドキュメントに関するデータを記憶する第2動作モードとを有し、モードが第2モードから第1モードに変換されるときには、システムは1つ以上の未決のドキュメントの電子的形態の一覧を生成し、前記電子的形態の一覧に対応するユーザ用一覧を前記ユーザに送信するシステムを提供する。

ドキュメント配送システムは印刷システムと類似した方式の動作を行い、印刷システムに関して記載された特徴は、ドキュメント配送システムに等しく適合する。

【誤訳訂正8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0027

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0027】

サーバが「通常モード」信号を受信した場合サーバは、プリンタがオンに切り替えられた直後であるか、「休暇」モードから「通常」モードへ状態を変更したかを決定する。プリンタがオンに切り替えられた直後であるとサーバが決定した場合、サーバは、プリンタがオフだった間に印刷されるべきであったプリントジョブに関する印刷データを送信する。しかし、「休暇」モードから「通常」モードにプリンタ状態が変化したものとサーバが決定する場合、サーバはプリンタが「休暇」モードであった間印刷されていたであろう全ての「未決の」ドキュメントに関する情報を抽出する。その後、サーバは、様々なドキュメントの一覧を編集し、一覧表30（図2を参照）を印刷すべくこのデータをプリンタへ転送する。例えば、ユーザが日刊紙及び多数のマガジンを予約購読してもよく、そのため、ユーザはマガジンを印刷したいが新聞を印刷することを希望しない可能性があり、一覧はどのドキュメントを印刷するかを選択することをユーザに可能とさせる。

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

一覧表はプリンタによって印刷され、ユーザは次に一覧を熟読する。一覧上の各ドキュメントについては、ドキュメント34を印刷するか、ドキュメント36を「削除」オプションが設けられている。ここで、「削除」とは、ドキュメントを印刷せず、電子的形態の一覧中の一覧の入力を削除することを意味し、新聞などのドキュメントは多数のユーザのために印刷され得るため、実際のドキュメント・データ自体を削除するのではない。ユーザは一覧の各ドキュメントについてこれら2つのオプションのうち1つを選択し、或いは選択しなくてもよい。「印刷」が選択されたドキュメントについては、サーバがプリントジョブを編集し、即時の印刷のためにプリンタに適切な印刷データを送信する。一旦ドキュメントが成功裡に印刷されたならば、サーバは「未決」ドキュメントのリストにおいてそのドキュメントへの言及を削除する。「削除された」ドキュメントについては、サーバはそのドキュメントを印刷せずに、未決のドキュメントのリストにおいてドキュメントを削除する。ユーザが選択を行わなければ、ドキュメントに関する一覧中のデータは変更さ

れない。

【誤訳訂正 1 0】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 9】

好適な実施形態においては、プリンタは、同一出願人の同時係続中の国際特許出願第 P C T / A U 0 0 / 0 0 5 6 1 号に記載されているようにネットページを印刷するネットページ・プリンタである。ネットページは、ネットページの相互作用の特徴を提供するネットページ・ペンによって検知可能な視認不能のタグと共に印刷される。オプションの選択はネットページ・ペンを使用するものであってもよい。代替手段において一覧は、一覧上の各ドキュメント 3 2 の I D 3 8 を含むものでもよい。各ドキュメントに対するオプションはプリンタのコントロールパネルあるいは別のユーザ・インターフェースを使用して、システムに入力されてもよい。これは、プリンタがネットページを利用可能でないか、ネットページ・ペンが利用可能でない場合の選択肢である。

【誤訳訂正 1 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 0】

一覧表は好適には、全てを印刷するオプション 4 0 及び全てを削除するオプション 4 2 を有する。2 つのオプション 3 4 , 3 6 のうちの 1 つが選択されると直ちに、各ドキュメントの印刷あるいは削除が生じ得る。代替の手段においては、ページ上の送信ボタンをクリックすることにより、あらゆる選択も単純に作動され得る。全て印刷、及び全て削除のオプション 4 0 , 4 2 は、一覧の各ページ上に、第 1 ページのみに、或いは最終ページのみに印刷され得る。

【誤訳訂正 1 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 1】

プリンタが、「休暇」モードから「通常」モードへ変換された後、サーバは、所定期間だけ未決のドキュメントのリストを維持してもよく、その期間の終了時に一覧上のあらゆるドキュメントが削除される。これは例えば一週間、或いは永年であってもよい。一週間、或いは一か月などのあらゆる期間がシステム管理者によって選択され得る。そうすることが望ましい場合には、ドキュメントは削除されなくてもよい。期間は、システム上の全ユーザについて同一であってもよく、或いは、各階層のユーザについて、又は個々のユーザについて設定可能であってもよい。各ユーザは、システム管理者によって設定されたものよりも短い期間を設定する選択肢を有し得るが、典型的にはより長くなることはない。

【誤訳訂正 1 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 2】

代替の実施形態において、プリンタが「休暇」モードにある場合にはオンラインに維持され、サーバより送信されたプリントジョブを全て受信する。プリンタはメモリにプリン

トジョブ情報を記憶するが、何も印刷しない。「休暇」から「通常」モードに変換されると直ちにプリンタは、ユーザに選択させるために、記憶されたプリントジョブの一覧を印刷する。選択されたプリントジョブは印刷され、その情報はメモリから削除される。削除されたジョブはプリンタのメモリから削除され、印刷も削除もされないジョブは選択された期間だけプリンタのメモリに保持される。プリンタがプリントジョブを受信し、記憶する場合には、不揮発性メモリが文書の記憶装置として好適であることが認識される。代替手段としてプリンタは、プリントジョブを記憶するためにそのRAMメモリを使用してもよい。

【誤訳訂正 1 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 3】

好適な実施形態では、システムはプリンタが「通常」モード、電源オフ、オフライン、又は「休暇」モードにある状態の間で変化し、プリンタが「休暇」モードであった場合には、未決のドキュメントの一覧のみを印刷する。「休暇」モードの状態からのみならず、プリンタがオフ又はオフラインから「通常」モードへ変化したときにシステムが一覧を生成し得ることは認識される。一覧は自動的に、或いは、プリンタが所定の期間を超えてオフ又はオフラインであった場合にのみ生成されてもよい。例えば、プリンタは紙又はインク切れになった場合にオフラインになり得る。数分の内に供給が補充された場合、ユーザは通常、あらゆる未決のプリントジョブが自動的に印刷されることを望む。しかし、プリンタが数日間オフラインであった場合には、ユーザはそれらのプリントジョブのうちのいずれかが印刷される前に未決のプリントジョブの一覧を見る方を好む可能性がある。ここでもこの期間は、管理者によって全体的なベース、或いは個々のユーザ又はユーザの階層ベースで設定され得る。ユーザは、異なる期間を設定することを許容され得る。

【誤訳訂正 1 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 5】

好適な実施形態では、プリンタがその「休暇」及び「通常」モードの信号を送信するサーバは、プリントジョブが発生する1つ以上のサーバとは異なってもよい。ネットページ・システムにおいてはプリンタの特定モード情報は典型的に、他のサーバから質問され得る形態において1つ以上の登録サーバによって記録されるためである。更に、プリントジョブが発生する1つ以上のサーバは、未決のプリントジョブ又は未決のプリントジョブの一覧が、最終的に出現する1つ以上のサーバとは異なってもよい。ネットページ・システムにおいては、目標とするプリンタが受容可能でない場合さえもページ・サーバがプリントジョブの執拗な記憶を提供するためである。